市長発言要旨

【発表事項】

① 「デジタルでつなぐ次世代型町内会・共助モデル構築プロジェクト」の実証事業の開始について

米沢市官民連携 DX チャレンジプロジェクトの一環として、「デジタルでつなぐ次世代型町内会・共助モデル構築プロジェクト」の実証事業を令和８年１０月１日から開始しましたので、お知らせいたします。

今回のプロジェクトでは、町内会活動のデジタル化を進めることで、共働き世帯や若年層も自然に参加できる持続可能な地域コミュニティの実現を目指します。具体的には、デジタル回覧板や安否確認、双方向の意思疎通ツールにより、町内会運営にかかる負担の軽減を図ります。

プロジェクトの概要についてご説明します。

本プロジェクトでは「町内会コミュニケーションアプリ」と「市と地区委員のコミュニケーションアプリ」の２アプリを導入します。これら２つのアプリは、大阪市の「株式会社ワンベルウッズ」が開発したシステムを採用しています。このアプリは総務省のハンドブックにも掲載されるなど、行政・自治会 DX のソリューションとして全国で実績を広げています。

それではまず、１つ目の「町内会コミュニケーションアプリ ユミコム」についてです。

こちらは、市内２つのモデル町内会（福田町と笹野町）において、１０月１日から半年間の実証事業を開始しています。主な機能として、デジタル回覧板、イベントカレンダー、お知らせ、アンケートのほか、災害時のプッシュ通知や安否確認、町内会費のデジタル納付などを備えています。また、町内会の役員同士はもちろん、役員と会員、会員同士の連絡ツールとしても活用できるため、情報共有の迅速化や町内会費の徴収など、町内会運営の負担軽減につながるものと期待しています。

なお、紙でないと困るという方もいらっしゃいますので、当面は引き続き紙とアプリの併用を考えていますが、まずは便利さを実感していただき、状況を把握したうえで使い方のセミナーなども展開していきたいと考えています。

次に、２つ目の「市と地区委員のコミュニケーションアプリ　ユミコムワークプレイス」についてです。

こちらは、市と地区委員会の常任委員（５１名）との情報共有ツールであり、町内会コミュニケーションアプリと同様、令和 8 年 10 月から運用を開始しております。行政からの情報発信や各種会議・イベントの出欠連絡、グループトークなどの機能を活用し、市と地区委員との連絡や情報共有を効率化していきます。１０月２３日には、地区委員会の常任委員を対象とした説明会を実施しました。

今後は、すべての常任委員への導入を進め、従来の紙でのやり取りから行政情報の発信や各種会議の出欠確認などをアプリへ切りかえることで、連絡業務の効率化と情報共有の円滑化を図ってまいります。

米沢市としては、このプロジェクトを通じて、これまで地域を支えてきた町内会活動や住民同士のつながりを大切にしながら、デジタルを一つの強力な道具として取り入れることで、これからの時代に合った地域活動のあり方を模索してまいります。

② 第２９回「まちゼミ in 米沢」開催のお知らせ

米沢市では、市内商店の有志メンバーで結成された「米沢まちゼミの会」が中心となり、今回で第 29 回目の開催を迎えます。

お手元のチラシにあるとおり、各商店の方が講師となり、プロならではの専門的な知識やコツ、 とっておきの情報、 趣味の楽しみ方などを、 少人数制で楽しく学ぶことができます。内容により材料費がかかる場合がありますが、受講料は基本的に無料です。

今回の大きなトピックスといたしましては、新たに若手経営者による４店舗が加わり、これまで以上に新しい魅力と盛り上がりを見せてくれるものと期待しております。

開催期間は１１月５日から１２月２０日まで、１５の商店が参加し、全１７講座が行われる予定です。

みなさまぜひ新たな店舗の魅力も加わったまちゼミをお楽しみください。

③「米沢市サステナブル産業集積政策セミナー」開催のお知らせ

山形大学では、文部科学省の「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J－PEAKS）の採択を受け、電子部品・デバイス等の設計、製造、使用、廃棄の全過程で環境負荷を抑え、資源効率向上とリサイクル促進を目指す「サステナブルエレクトロニクス」の実現に向けて様々な取組を推進しているところであります。

この取組の一つとして、大学と地域企業が地域課題の解決に一体となって取り組み、地域のイノベーションを実現することを目的に、２０２６年５月に「サステナブルエレクトロニクス地域連携コンソーシアム」が設立されました。

この度、本コンソーシアムと本市の主催により、１１月１９日１３時から市役所２０１会議室にて「米沢市サステナブル産業集積政策セミナー」を開催することとなりました。

このセミナーでは、「地域企業の持続可能な未来をどう実現するか」をテーマに、地域産業を取り巻く環境の変化を踏まえ、持続可能な産業構造の実現に向けた方向性や具体的な取組について考えます。

講演は私のほかに、コンソーシアム副代表の小野浩幸特任教授、山形大学学士課程基盤教育院の山本美奈子准教授、コンソーシアム代表の熊木大介研究専任教授です。

企業関係者をはじめ、ぜひ多くの方々に参加いただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。